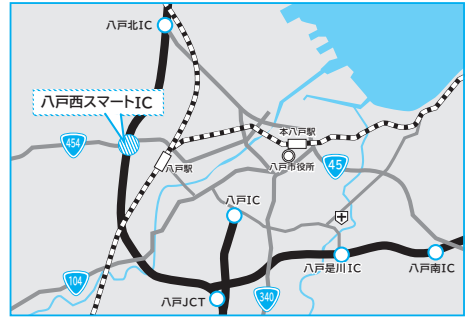


八戸西スマートインターチェンジの主な整備効果

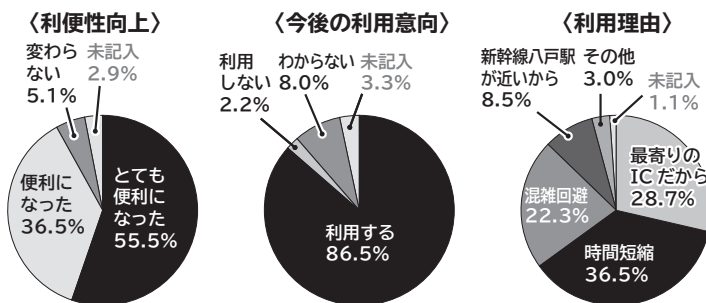
八戸西スマートインターチェンジとは？

- 【位置】 八戸自動車道八戸JCT～八戸北IC間の国道454号との交差部
- 【接続形式】 本線直結型
- 【対象車種】 ETC車載器を搭載した全車種
※ETCを搭載していない車は利用できません。
- 【利用形態】 一旦停止型のフルインター形式
(盛岡方面、三沢方面ともに乗り降りできます。)
- 【利用時間】 24時間利用可能



整備効果 その① 高速道路の利便性向上

利用者アンケート(回答274件)の結果、約9割の人が「便利になった」と回答し、約8割の人が「今後も利用する」と回答しました。また、約6割の人が「時間短縮・混雑回避」を理由として利用しています。



利用者の声 /

- 〇是川地区・階上町方面へ気軽に行けるようになり、とても助かっています。(豊崎町地区在住)
- 〇八戸駅にアクセスしやすくなりました。(おいらせ町在住)

開通後1年間で、累計約22万2千台のご利用をいただいています。



整備効果 その② 地域産業、経済活動の活性化

高速道路へのアクセス性が向上し、物流の効率化や運転手の負担軽減など、企業活動に貢献しています。

運送業者・バス事業者の声 /

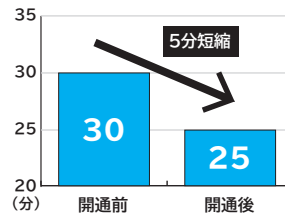
- 〇冬期間は八戸ICへの登坂を回避することができるため、安全性向上やドライバーの心理的負担軽減につながります。(市内運送業者)
- 〇高速道路へアクセスしやすくなり、労働時間短縮につながっています。(六戸町内運送業者)
- 〇所要時間が読みやすいです。(市内観光バス事業者)



整備効果 その③ 広域的な医療体制の充実

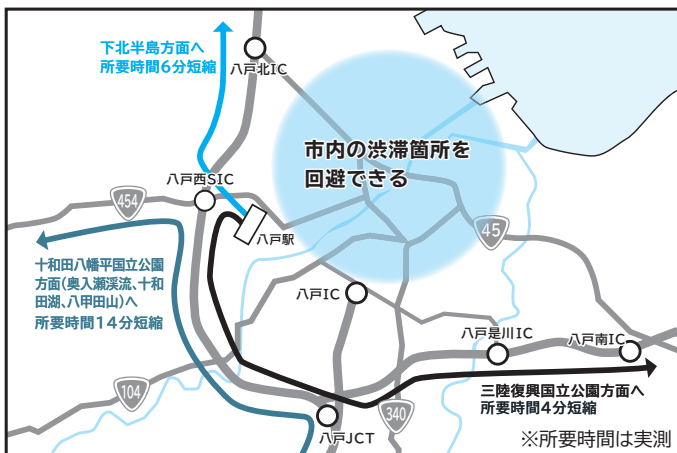
八戸圏域町村から八戸赤十字病院や八戸市立市民病院への患者搬送時間が短縮され、救命救急医療に貢献しています。

〈おいらせ町→八戸赤十字病院の搬送時間〉※所要時間は実測



整備効果 その④ 観光産業の活性化

八戸駅から三陸復興国立公園および下北半島方面へのアクセス性や、十和田八幡平国立公園方面へのアクセス性が向上するとともに、東西間の通行の利便性が向上しました。



整備効果 その⑤ 防災活動の円滑な実施

災害時の救助・救援ルートが多重化が図られ、救援物資の運搬ルートの選択肢が増えました。

